

第21回 現代世界の系統地理的考察

■■ 人口、村落・都市編 ■■

世界の人口問題に目を向けてみよう

監修・講師
内藤 正典

学習のねらい

世界の人口問題を考えるときに、国を単位として人口が増えたり、減ったりする現象のほか、世界の中で人がどのように動いているのかにも注目することが必要です。今回は、前半では、日本にも働く外国人の人たちが増えている現状をもとに働くために国境を越える人たちについて、後半では、戦争などによってやむを得ず国境を越える難民の問題について考えます。

今回のポイント

- 高齢化する日本
- 世界の人口問題
- 国境を越える人たち

■■ 高齢化する日本 ■■

● 外国人労働者を受け入れるということについて

日本に限らず、先進国はどこでも少子高齢化の問題を抱えている。そのため、労働力の不足を補うために外国から働き手を迎え入れるようになった。外国人の存在は、どこの国でもなくてはならない。しかし、言葉や宗教など文化の価値観が違う人たちとともに生活していくのは簡単なことではない。受け入れる国の景気がよくて、働き手が足りないときには重宝されるが、景気が後退すると排除の対象となりがちである。そういう弱い立場にあるということをふまえて、できるだけフェアな受け入れ政策が必要となる。

■■ 世界の人口問題 ■■

● 外国人労働者と移民の違いについて

外国人労働者とは一定期間、働くために来る人のこと。移民という場合には、家族も一緒に外国に長いこと定住していく人を指す。日本では外国人労働者だけを受け入れ、移民を受け入れる政策をとらない方針だが、アメリカやドイツなど欧米諸国の多くは、家族と一緒に暮らすことを基本的人権として認めており、移民の統合に必要な政策をとっている。それでも、文化の違い、特にヨーロッパに多いイスラーム教徒移民とともに暮らすことには、多くの難しい問題があり、最近ではシリアでの内戦などから多くの難民がヨーロッパ諸国に流入したため、難民や移民に対する規制を強めるべきだという主張が急速に高まっている。

■■■ 国境を越える人たち ■■■

● 難民と移民の違いについて

移民というのは、より豊かになりたい、自分の夢を実現したいなど、さまざまな目的があつて自分の意志で国境を越えてほかの国に移住する人たちのことをいう。これに対して、難民というのは戦争や迫害を逃れて、やむをえず母国を離れる人たちのこと。難民には、国際的な保護が必要で、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）が中心となって救援活動をしている。2018年現在、世界には6,500万人を超える難民がいて、過去最高となっている。難民の発生を止めるためには、紛争や戦争を止めることが必要だが、国連の努力にもかかわらず、多くの紛争を止めることができていないのが現状である。

